

原町田中央通りの未来を考えよう

発行・お問い合わせ 町田市地区街づくり課 (TEL: 042-724-4266 ,MAIL: mcity4090@city.machida.tokyo.jp)

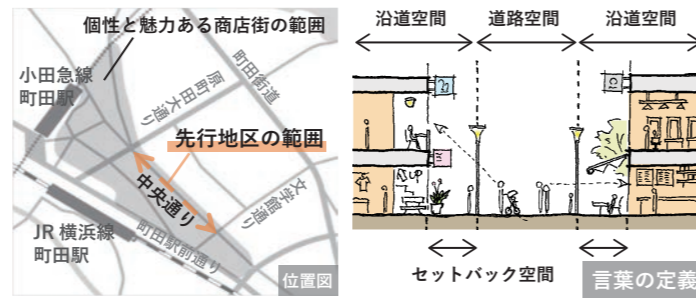
協力 町田市中心市街地活性化協議会

中心市街地のメインストリートの一つである原町田中央通りでは、「町田市中心市街地まちづくり計画（2016年策定）」に基づき、歩いて楽しい「町田らしい商店街」プロジェクトの先行地区として、沿道のまちづくりの検討を進めています。

2019年度には、通りの未来を描くために、5回のワークショップと社会実験を開催しました。参加者のみなさまからいただいたご意見を基に進めている現在の検討状況や今後の取り組みについてお知らせします。

取り組み概要

原町田中央通りでは、2021年度より無電柱化の準備のための工事が予定されています。これを好機と捉え、通り全体の空間づくりを行うことで、居心地の良い滞留空間・快適な歩行空間を創出するため、無電柱化事業・まちづくりのルールの検討・交通施策・荷捌き施策などに連携して取り組み、これからの商店街の賑わいにつなげることを目標としています。



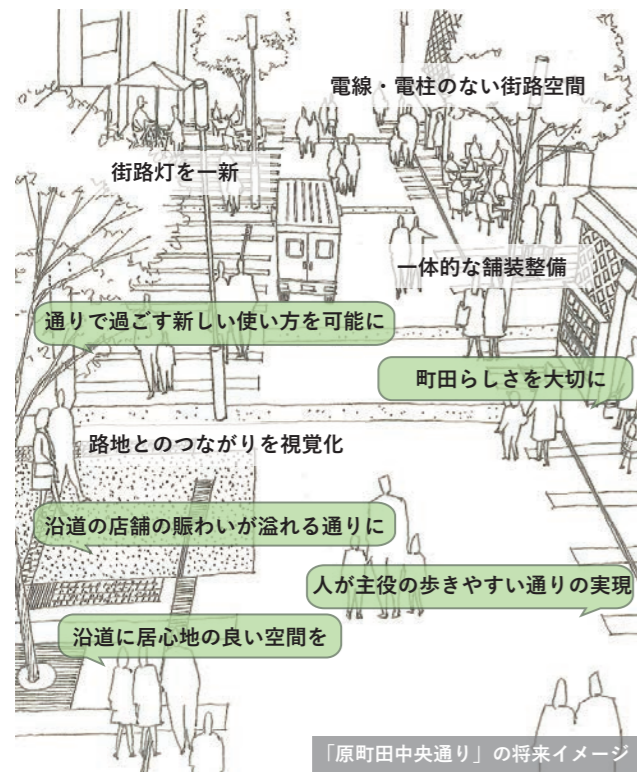
電線・電柱のない通りのイメージ

電線・電柱のない街路空間の実現に合わせ、一体的な舗装整備や街路灯の一新などの景観整備、車両の進入や速度の抑制に同時に取り組むことで、歩行者主体の歩きやすい通りを目指しています。



将来イメージ案

2019年度のデザイン調整会議やワークショップを受け、舗装デザインや整備後の沿道空間の活用アイデアをまとめた将来イメージ案を作成しました。(ワークショップの様子は町田市ホームページよりご覧いただけます)



< 活用アイデアの実現イメージ >



沿道空間の活用アイデア

二・六の市を日常に 二・六の市や西の市など歴史や文化を活かした空間づくり

屋台やワゴンなどを配置し、沿道店舗や新たな出店者を募って、店主の顔の見える、活気ある通りを実現する。

まちの勉強部屋 学生が集まったり勉強したり安心して過ごせる場所づくり

学生たちが過ごす様子を、通りゆく大人が見守れる。学生のときに過ごしたまちには、愛着が湧き、大人になっても住んだり、訪れたりする動機になる。

思い思いに過ごせる場 多様な人が多様な過ごし方ができる居心地の良い場所づくり

植栽やひさし、家具などを配置し、子どもからお年寄りまでだれでも自由にゆっくり過ごせる居心地の良い場所をつくる。世代間の交流の生まれる仕掛けもつくる。

商店街の縁側 コミュニケーションや情報交換の場づくり

地域のつながりを強くするような集える場をつくる。地元の人が楽しんでいるまちは、訪れる人も楽しい。地元の方と来街者との自然な交流も促すような場所に。

軒先活用 沿道店舗の賑わいが通りに溢れ出る通りづくり

テイクアウトやテラス営業のニーズにも応え、沿道店舗の軒先活用として、ワゴンやテーブル、椅子などを設置する。

これからはなし

2020年度はセットバック空間をどう使うか、運営方法も含めて、より具体的な検討を進めていきます。道路だけでなく、将来的な沿道建築物の用途や形体、屋外広告物の設置ルールなども合わせ、沿道空間として一体的にデザインすることで、通りや店舗の魅力が引き立つ空間づくりを目指します。

2020年11月と2021年2月に「オープン会議」を開催する予定です

取りまとめたルール案や運用の仕組みについては、改めて皆様と議論する場を11月と2月に設ける予定です。日程や開催内容については、新型コロナウイルスの感染状況も見ながら検討し、改めて町田市広報やホームページなどで案内いたします。

今後は以下の3点について検討します

- 無電柱化事業に伴うハード整備 (2021~2027年工事予定)
舗装デザイン / 街路灯・ベンチ・植栽などの配置
- ルールづくり (2021年策定予定)
セットバック空間の使い方 / 沿道建築物の用途や形体 / 広告物の大きさ・色彩 など
- 運用の仕組み構築 (2021年構築予定)
街路灯・植栽の維持管理体制
マルシェ利用など活用事業の実施体制 など

アンケート・ヒアリング (聞き取り調査) にご協力をお願いします

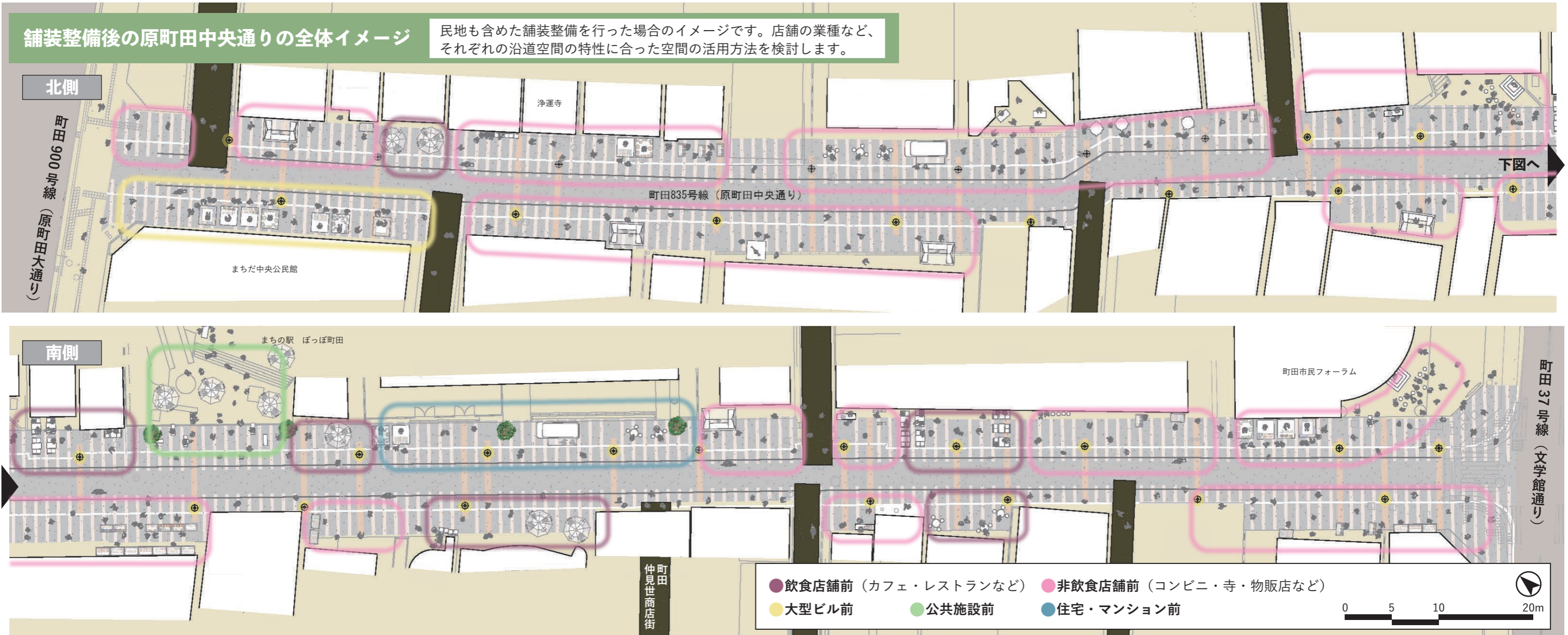
これまでに取りまとめた将来イメージ案について、沿道の権利者の皆様のご意見を伺うため、アンケートを実施します。また、ヒアリング調査では、車や自転車の通行に関することなども含め、現状の課題や今後のご意向についてお話を伺いたいと思っています。

対象者の方々には別途依頼文をお送りいたします。多くの方のご意見を伺いたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

アンケート回答期限：9月7日
ヒアリング日程：8月27日~9月25日
(土日祝を除く)

舗装整備後の原町田中央通りの全体イメージ

民地も含めた舗装整備を行った場合のイメージです。店舗の業種など、それぞれの沿道空間の特性に合った空間の活用方法を検討します。



これからの原町田中央通りでは、沿道の店舗と道路空間を一体的に捉え、店舗の個性や魅力を活かした、歩行者が主役の歩いて楽しい通りの実現を目標にしています。

歩きやすさや滞在しやすさの向上などを考慮し、以下の4つのコンセプトのもとデザイン検討を進めています。

舗装デザインのコンセプト

- 1 舗装を合わせて通りを一体的に見せる
- 2 通行空間や滞留空間など歩行者のためのスペースを視覚化し居心地の良い空間をつくる
- 3 路地とのつながりを視覚化し、路地へも歩行者を誘導し、回遊性を高める
- 4 舗装の工夫やスリット側溝の配置の工夫により、見かけの車両通行帯の幅員を狭め、車両の通行や速度の抑制を促す

<整備後の沿道空間イメージ>



たとえばこんな使い方 / 沿道空間の活用事例

写真中の●印は、それぞれの使い方と相性が良いと想定される沿道空間を示しています。



テラス席の設置



ベンチ・テーブルの設置



屋外物販スペース



移動販売



チャレンジショップ



子どもが遊べるスペース



イベントの実施